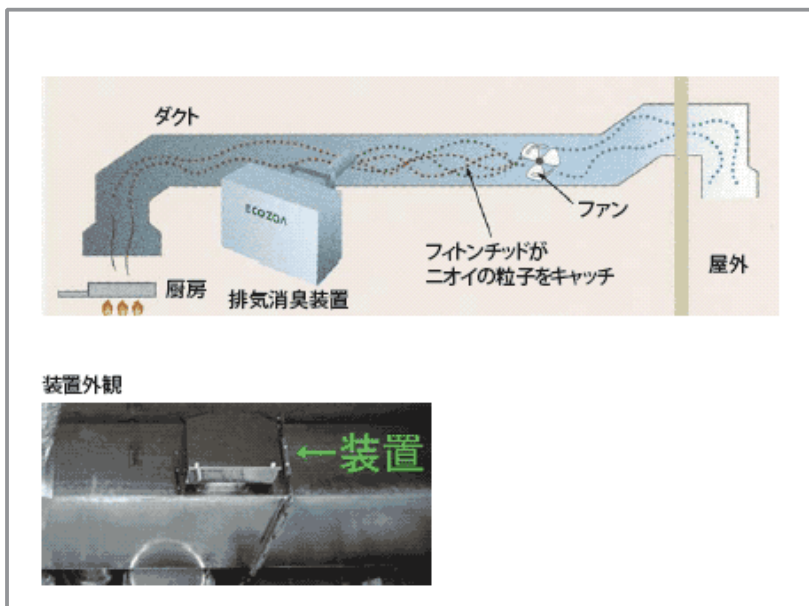


コンサルコーポレーション株式会社

更新日 2019/4/1

エコゾア排気消臭装置

【概略フロー】



【脱臭方式】

消・脱臭剤法 (感覚消臭・化学消臭)

【適用可能業種】

最適業種

・飲食店

適用可能業種

■化学工場

・FRP製品製造工場

■その他の製造工場

・その他の機械製造工場

■サービス業

・下水処理場

・その他の廃棄物処理施設

・飲食店

◆装置の概要

排気ダクト中に消臭剤を放出して臭気レベルを下げるシステムである。消臭剤としては植物から抽出した天然植物精油が用いられる。植物精油と臭気を混合すると、混合臭の臭気は弱く感じられることを利用したものである。また、植物精油から発散されるいわゆるフィトンチッドが、臭気成分と化学的に反応して臭気レベルを下げるとされている。

◆特徴

- 消臭剤は天然成分を使用しており、安全性は高い。ダクト内に火炎が入った場合には、ダンパーが閉じ、装置内への火炎の侵入を防ぐ構造になっている。
- 消臭剤はダクト内の負圧によって放出されるため、エネルギー消費や騒音・振動はない。排水処理も不要である。
- 日常点検は不要であり、基本的に2ヶ月ごとに清掃点検を行う。

◆総合評価

臭気に気体の消臭剤（植物精油）を接触させて臭気レベルを下げるシステムである。装置自体は消臭剤を格納する箱型容器と消臭剤を発散させるためのノズルからなり、これをダクト途中に設置するものである。消臭剤はダクト内の負圧により吸引発散される。本装置の特徴は、装置の構造がシンプルかつコンパクトで、薬品や電気等を使用しないことである。したがって、処理風量が少なく消臭剤の使用量が少なければ、安価なシステムになる。なお、本装置にはダスト除去機能はない。また、排気と消臭剤とを十分に混合、接触させるため、装置からダクト出口まである程度の距離が必要と考えられる。メーカーはさまざまな業種に適用可能としているが、消臭剤はすべての臭気に必ずしも万能ではないため、装置の導入に際して処理する臭気に対する消臭効果を確認することが望ましい。また、ランニングコストに大きく影響する消臭剤使用量を把握することも必要である。メンテナンスとしては消臭剤の交換を怠らないことが重要である。

業種	飲食店（焼肉店）
臭質	焼肉臭
想定臭気指数	34

主な仕様	
処理風量 (m ³ /分)	250
型式名	10-954H 3台
寸法 (W×D×H (mm))	303 × 120 × 203 / 1台
重量 (kg)	15
材質	ステンレス (SUS304)
操作条件 (圧力損失など)	無視できる
稼働条件 (時間/日、日/月)	14時間/日 30日/月
電源 (V)	—
消費電力 (kW)	—
電気使用量 (kWh/月)	—
ガス使用量 (m ³ /月)	—
水道使用量 (m ³ /月)	—
施工性	
設置場所	排気ダクト横
必要スペース (W×D×H (mm))	350 × 450 × 750
経済性	
イニシャルコスト (円)	780,000
イニシャルコスト (円)	—
(ファン込み価格)	
基本ユニット構成	装置本体 :14万円/台×3台 消臭剤 :3万円/個×12個
表示価格	実勢価格
設置工事費 (円)	120,000
ランニングコスト (円/年)	1,440,000
消耗品	消臭剤
脱臭性能	
実測調査結果	測定業種：焼肉店 臭気濃度：16,000 → 1,000 [脱臭効率：94%]
メーカー提示情報	メーカー保証値：脱臭効率 80-90% 実測値：焼肉店 臭気濃度：2,300 → 310 [脱臭効率：87%]
※表示情報はあくまで参考値です。脱臭装置は導入する状況により価格等が大幅に変動します。購入の際には必ず販売店にお問合せ下さい。	

問い合わせ窓口
 コンソルコーポレーション株式会社 市場開発部
 〒112-0001 東京都文京区白山2-29-4 泉白山ビル10階
 TEL:03-3868-3801/FAX:03-3868-3845

URL:<http://www.consol.co.jp/>